Rinnai®

電子ジャー付ガス炊飯器

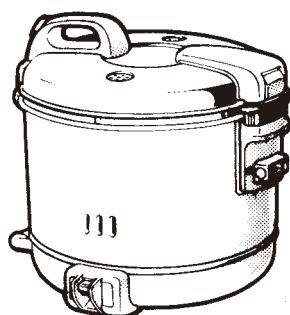
RR-15VNS2

取扱説明書

（保証書付）

お使いになる前に

使いかた

困ったときは

ご愛用の皆様へ

このたびは、電子ジャー付ガス炊飯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ●ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- ●この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認の上、大切に保存してください。
- ●本製品は国内専用です。海外では使用できません。
- ●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店または当社の支社・支店・営業所・出張所にて再購入してください。

安全のために必ず守ってください

この取扱説明書および製品への表示では製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

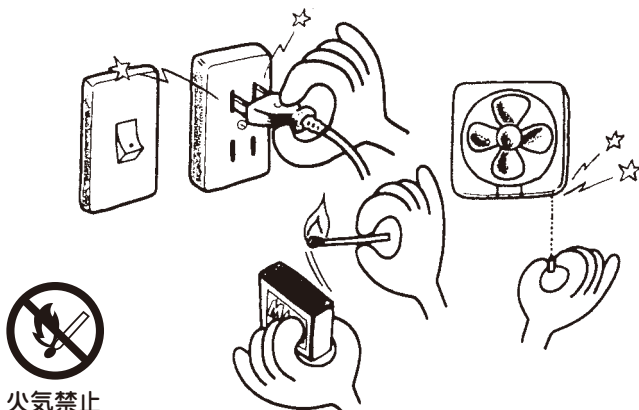
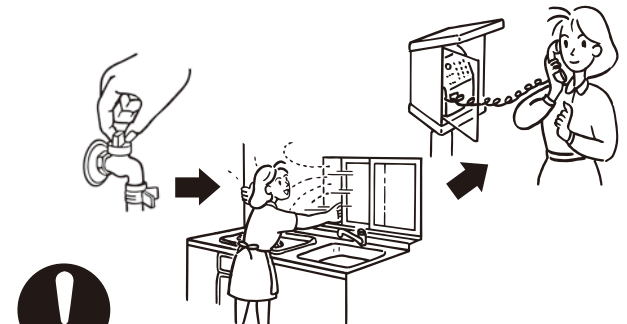
●絵表示については次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。	火災注意 感電注意 高温注意
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	火気禁止 接触禁止 分解禁止 ぬれ手禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	電源プラグを抜く

⚠危険

ガス漏れ時のご注意

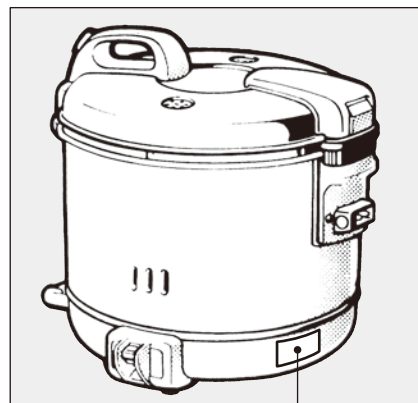
●ガス漏れの時は、火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話など使用しない。引火し爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

●万一ガス漏れに気付いたら
①すぐに使用をやめガス栓を閉じる。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡する。

必ず行う

⚠ 警告

●使用ガス及び使用電源についてのご注意

- 機器が使用ガス（使用ガスグループ）及び使用電源（AC100V）に適合していることを機器の銘板で確認してください。
- 表示以外のガス・電源では使用しないでください。不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり爆発着火でやけどしたりすることがあります。また故障の原因にもなります。
- 転居または移設されたときにも、供給ガスの種類・電源の種類が銘板の表示と一致していることを必ず確かめてください。

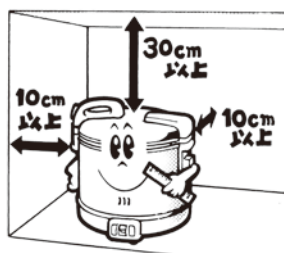
※ガスの種類には都市ガス数種類とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

●設置するときは可燃物との距離を確実に離す。

火災予防条例で定められています。必ず守ってください。可燃物の壁からの距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス鋼板などを張った場合でも可燃物と同様の距離が必要です。

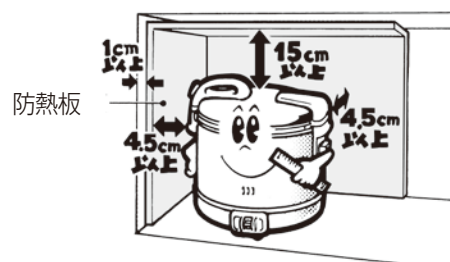
●機器を設置した後、周辺を改造する場合も設置基準を守る。

吊り戸棚などを付ける場合も可燃物との距離を確実に離し基準をお守りください。

●周囲の壁などが木材のような可燃物の場合

壁から10cm以上、上方は30cm以上必ず離してください。

●可燃物の壁から10cm以上、上方から30cm以上離せない場合

防熱板を壁に取り付けてください。

※防熱板については、お買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。

⚠警告

●機器の上や周囲に調理ラック、カーテン、紙ぶくろ、ペットボトル、調理油などの可燃物やスプレーなどの引火性のものは置かない。

焦げたり燃えたりして火災の原因となります。

●ふきん・タオルなどを機器にかぶせない。排気口の近くに調味料ラックなどを設置しない。

不完全燃焼や機器の損傷・火災の恐れがあります。

火災注意

●分解・修理・改造は絶対しない。

修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。異常作動してけがの原因となります。

分解禁止

●地震、火災などの緊急の場合はあわてずにただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

ガス栓を閉じる

●機器の給排気口やすき間にピンや針金などの金属物など異物を入れない。

感電や異常作動してけがをすることがあります。

●点火時に機器周辺を確認する。

かまをセットする時、燃焼部にしゃもじやスプーン等の異物がないことを確認する。異常燃焼や火災の原因になります。

火災注意

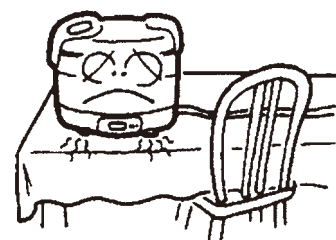
●機器を水につけたり、水をかけたりしない。

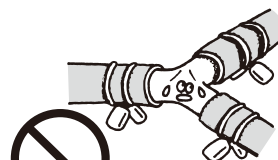
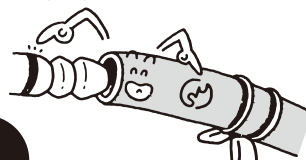
ショート・感電・不完全燃焼の原因となります。

感電注意

●不安定な場所や新聞紙、ビニールシートなどの熱に弱い敷物の上で使わない。

火災の原因となります。

火災注意

●ガス事故防止

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格又はJISマークの入っているもの）を使用してください。又、ひびわれしたり、差し込み口がゆるんでいるとガスが漏れてガス中毒やガス爆発の原因になります。傷んだゴム管は必ず取り替えてください。
- ゴム管は、ガス接続口の赤線まで差し込みゴム管止めで確実に止めてください。
- ゴム管の継ぎたし及び二又分岐はしないでください。

赤線まで差し込む

⚠警告

●使用中の異常に気づいた場合。

①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合は迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。
②故障や異常の見分け方と処置方法（18ページ）に従い処置をしてください。
③上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止しお買上げの販売店またはもよりの当社に連絡する。

●ゴム管・電源コードは炊飯器や他の機器の下側を通さない。他の熱源機器にふれない。無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。

使用時は周囲が高温になり、ゴム管、電源コードがとけてガス漏れや感電の原因になります。

●ゴム管はガステーブルなどの他の熱源機器から15cm以上確実に離す。

距離が近いと高温になり、ゴム管がとけてガス漏れの原因になります。

●電源プラグのほこりはふき取る。

火災の原因となります。

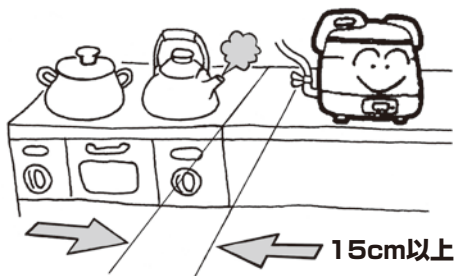
●電源プラグは根元まで完全に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

●炊飯中に外出はしないでください。

（保温時は除く）

●電源コードを切断して延長はしない。

電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外で使わない。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

●ぬれた手での抜き差しをしない。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電の原因になります。
コンセントに水などがかからないようにしてください。

ぬれ手禁止

●使用後は消火を確認する。

使用後は必ず消火していることを確かめてください。
ガス栓も閉じてください。

⚠注意

●**不安定な場所での使用禁止。**

水平で安定した所に設置してください。
機器が傾いて、やけどやけがをする恐れがあります。

●**棚の下など落下物の危険のある所を避ける。**

機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。

●**水のかかるところやガステーブル・オーブンなどの近くでは使わない。**

故障・火災の原因となります。

●**感熱部はいつもきれいにする。**

感熱部が汚れていたり、炊飯かまとの間に異物があるとセンサーが正常に働かないことがあります。

汚れをとる

●**炊飯中・炊飯直後に機器を持ち運ばない。**

炊飯中・炊飯直後の機器は高温のため危険です。転倒すると火災・やけどの原因となります。

●**炊飯中や炊飯直後は、蒸気口に顔や手を近づけない。又、炊飯直後ふたを開けるときの蒸気に注意。**

排気口から高温の蒸気や、ふたを開けたときは多量の蒸気がでますのでやけどをする恐れがあります。

高温注意

●**炊飯以外の用途には使用しないでください。**

過熱・異常燃焼による火災などの原因になります。

●**炊飯中、炊飯直後はボタン・炊飯レバー・取っ手以外は手を触れない。**

高温になっていますのでやけどをすることがあります。
特に幼児にはさわらせない。

接触禁止

●**機器の周囲に樹脂製品などの熱に弱いものを置かない。**

変形または変色する恐れがあります。

●**車両船舶での使用はしない。**

使用中に機器が傾いたりし、火災ややけどの原因になります。

●**お部屋の換気口（吸気口・排気口）は常に確保し、使用中は換気をする。**

不完全燃焼の原因となります。

換気をする

●**強い風の吹き込む所では使用しない。**

炊きむらなど、おいしく炊けない原因となります。

●**湯沸器の下では使用しない。**

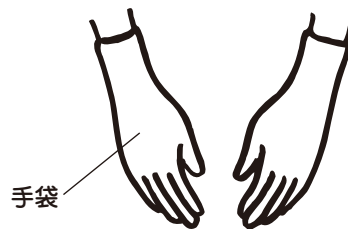
排気や水蒸気によって湯沸器が誤作動する原因となります。

⚠注意

●**子どもだけで使わせない。幼児の手の届くところで使わない。**

やけど、感電、けがをする恐れがあります。特に幼児にはさわらせない。

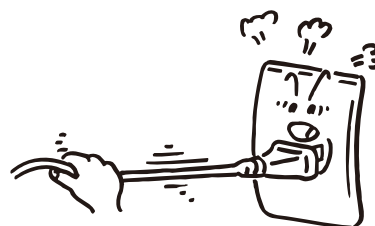
●**点検・お手入れの際の注意。**

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行ってください。手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

●**点火したままでは、かまを絶対に外さない。**

・必ず、消火後冷えてから、かまを外す。
・必ず、かまをセットした後で点火操作をしてください。

やけどや過熱による火災などの原因になります。

●**電源コードを持って引き抜かない。**

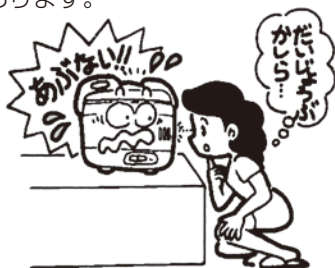
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない。電源コードを引っぱると断線して発熱や発火による火災の恐れがあります。必ず先端の電源プラグを持って行う。

●**ゴム管は2m以下で接続してください。**

初めてご使用になる時や、ゴム管を脱着した場合は、ゴム管内に空気が入っているために、１回の操作で点火しない場合があります。その時は炊飯レバーを戻して、再度炊飯操作をしてください。

●**外ぶたは取っ手を持って閉める。**

外ぶたがいきおいよく閉まり、手をはさむことがあります。必ず、取っ手を持って外ぶたを閉めてください。

●**点火操作をするときは、点火確認窓に顔を近づけ過ぎない。**

やけどをする恐れがあります。

●機器本体・外ぶたには安全に関する注意が表示してあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際には、たわしなどは使わないようご注意ください。

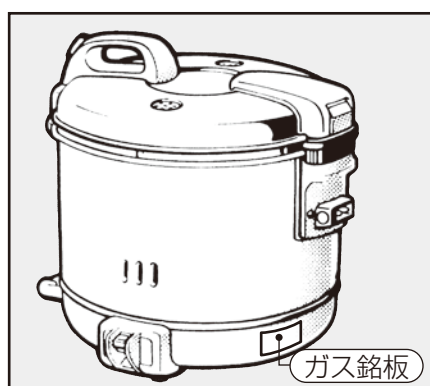
お願い

●**雷時の注意。**

雷が発生しはじめたらすみやかに運転を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

使用前の準備

1 使用ガス・電源を確認する

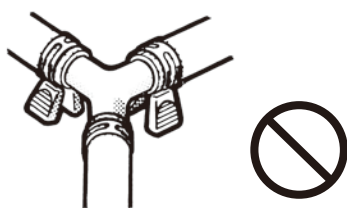
炊飯燃焼部に表示しているガスの種類とお宅のガスが一致しているかまず確かめてください。

〈表示の内容〉

例）04.08（2004年8月製造）

●保温電源は、交流100V50-60Hz（一般家庭用コンセント）を使用してください。これ以外の電源では絶対に使用しないでください。

2 ガスを接続する

- ●ゴム管はφ9.5mm ガス用ゴム管を使用してください。
- ●ビニール管は絶対に使用しないでください。
- ●ガス接続口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。

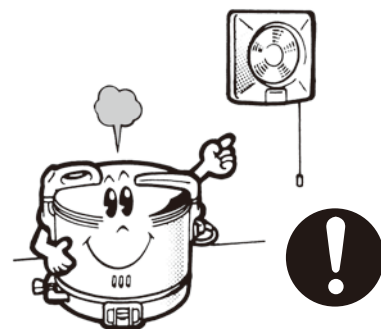
- ●ゴム管は2m以下で適当にゆとりをもたせ、折り曲げないようにしてください。
- ●ゴム管は炊飯器の下を通したり、接触させないようにしてください。
- ●ゴム管の継ぎ足しや二又分岐はしないでください。

お願い

古いゴム管はガス漏れの原因

ゴム管は2～3年を目安に取り替えてください。古くなるとヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。又、取り替えの際、ガス接続部に傷がついたり、異物が付着するとガス漏れの原因になりますので、ていねいにお取り扱いください。

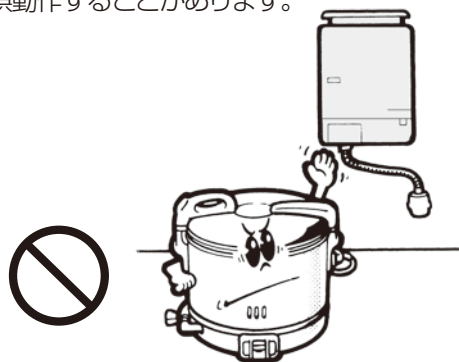
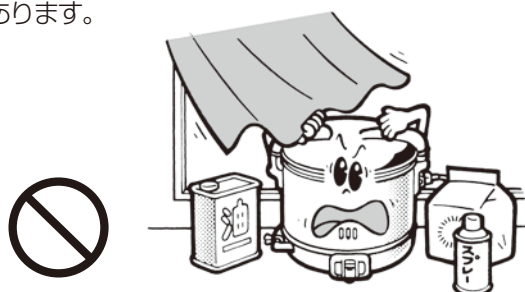
3 設置場所の注意

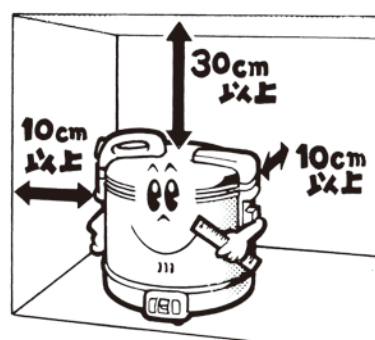
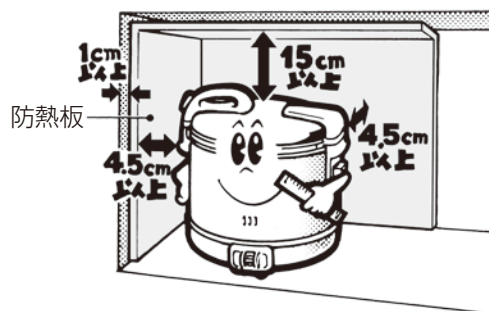
●換気のできるところ

お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。又、炊飯中は換気扇を回すなどして換気をしてください。

●安定した落下物や風の心配のないところ

棚の下など落下物の危険があるところでは使用しないでください。機器の上に落ちたものが燃えて、火災になることがあります。

4 壁や上方と間隔をとる

●**湯沸器の下に機器を設置しないでください。**
湯沸器が誤動作することがあります。

●**カーテンやスプレー缶など燃えやすいものがないところ**
カーテンや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。使用中に近くのものが燃えて、火災になることがあります。

●**幼児の手の届かないところ**
幼児の手の届くところでは使用しないでください。本体に触れたり蒸気でやけどする恐れがあります。

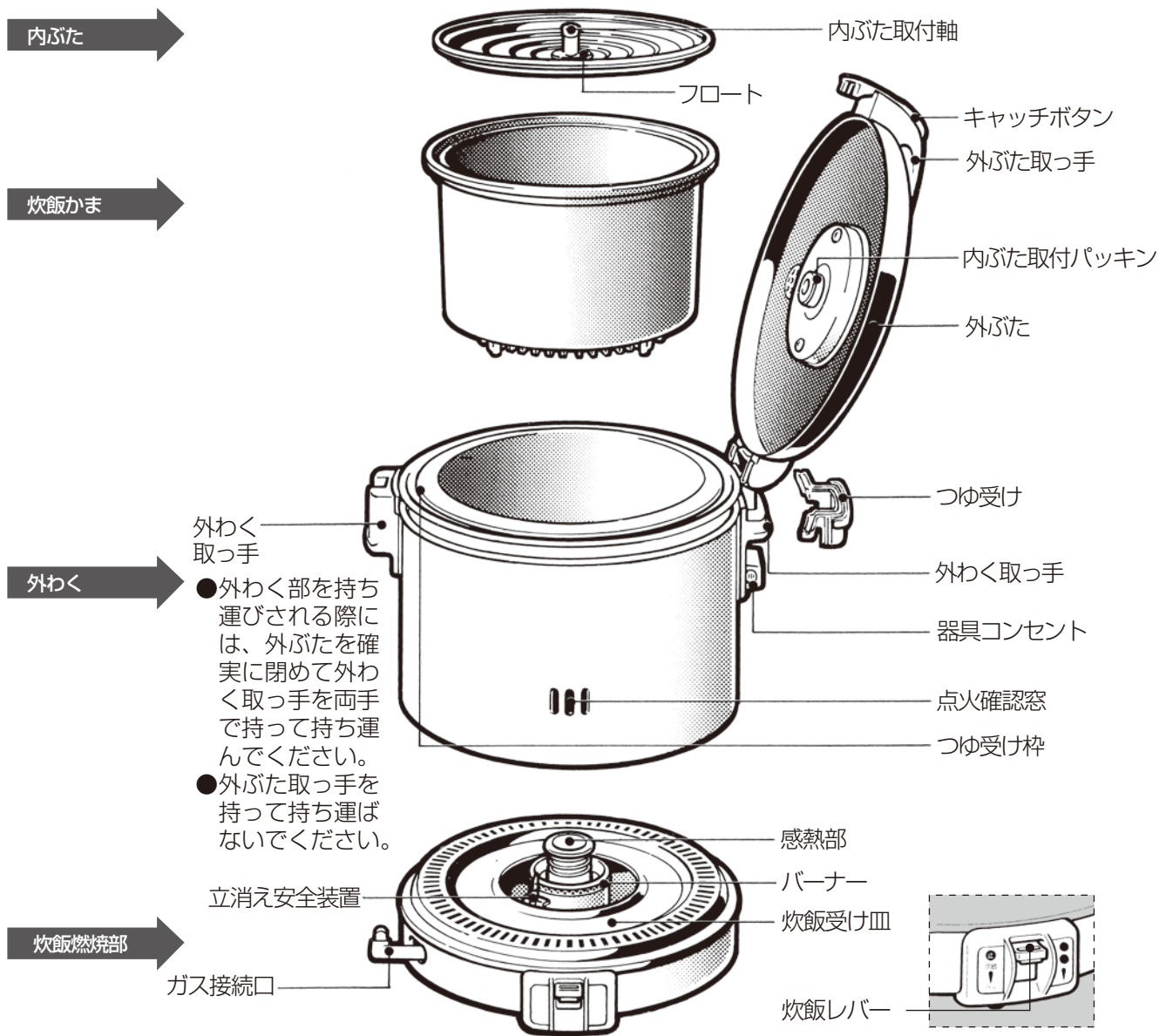
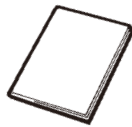
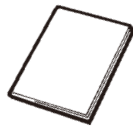
●**周囲の壁などが木材のような可燃物の場合**
壁から10cm以上、上方30cm以上必ず離してください。

●**可燃物の壁から10cm以上、上方から30cm以上離せない場合**
防熱板を壁に取り付けてください。

●**防熱板について**

材　　質	厚　さ	ご　注　意
鋼　　　板	0.5㎜以上	可燃物と1㎝以上の空間をとり、有害な変形のないよう補強してください。
ステンレス鋼板	0.3㎜以上	

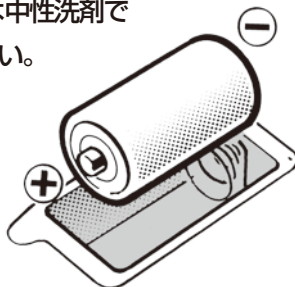
※防熱板については、お買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。

⚠ 警告

設置するときは可燃物との距離を確実に離す。
(火災予防条例で規制されています)
距離が近いと火災の原因になります。

各部の名称

●はじめてお使いのとき

●外ぶた・外わく・炊飯燃焼部はきれいな布で拭いてください。
炊飯かま・内ぶた・しゃもじ・計量カップなどは中性洗剤で洗った後、きれいな布で水気を拭きとってください。

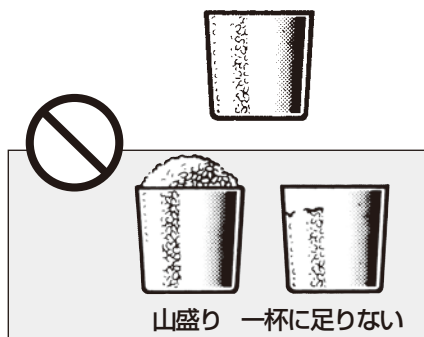
●乾電池をセットしてください。電池ケース（炊飯燃焼部裏側にあります）に⊕⊖の方向を確かめて乾電池をセットしてください。
単2形乾電池、1個使用です。

お願い

●付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。
●乾電池が消耗すると点火しにくくなります。「パチパチ」と放電間隔が長くなったら、早めに新しい乾電池にお取り替えください。

ご飯の炊きかた

●お米の準備

1 お米を計って洗米する

●付属の計量カップすりきり1杯で約180㎖（1合）。

●たっぷりの水で手早く洗ってください。洗い足りないと、ニオイ・黄バミ・炊飯不良の原因になります。

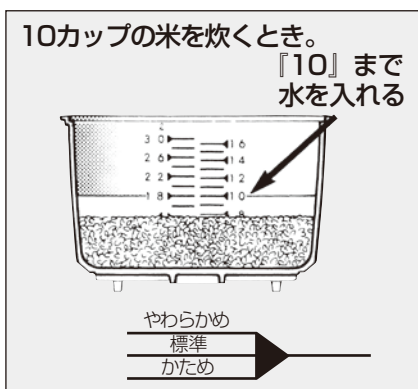
●泡立て器などを使わないで手で洗ってください。

●洗米機に長時間かけると粉米が多くなり、炊飯不良の原因になります。

お願い

● かまのフッ素加工を長持ちさせるためにはボールなどをご使用ください。

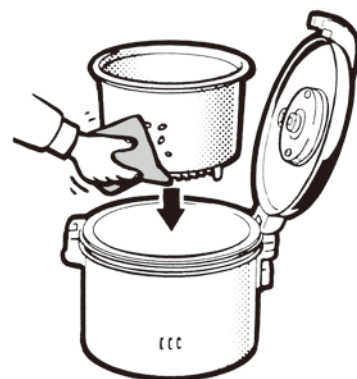
2 水加減する

●お米は水平にならし、炊飯量に合わせて目盛りまで水を入れる。

●炊飯かまの水位目盛は標準の水加減です。お米の種類やお好みに合わせて水加減してください。

新　　米	かため
古　　米 麦 ま ぜ 米 標準価格米 胚 芽 精 米	やわらかめ

●機器のセット

1 炊飯かまを外わくにセット

●炊飯かまの外側や底の水分・異物、外わくの内側に米つぶ・食品くずなどが付着していると炊飯不良の原因になるので、取り除いてください。

●水加減後30分～1時間ぐらい水につけておくと、十分水分を吸収し、芯のないおいしいご飯が炊き上がります。

気をつけていただきたいこと

●白米以外のご飯を炊飯する場合

● 具を入れたり、味付けしたりするのでお米の量は最大炊飯量の1/2位にして炊いてください。具は水加減した後、お米の上に乗せ、かきまぜないでください。
● 具の種類や水加減によっては早切れしたり、吹きこぼれしてうまく炊き上がらないことがあります。また炊き上がっても底に焦げ色がつきます。
● もち米を混ぜて炊飯した場合、もち米の量によりうまく炊けないことがあるのでご注意ください。

●無洗米について

● 無洗米に付属の説明書をよくお読みのうえ、炊飯してください。

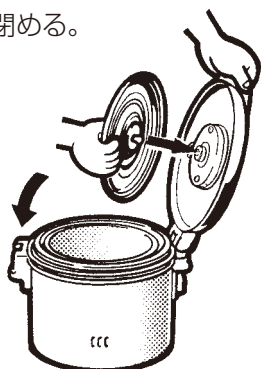
●添加物について

● 添加物（油等）を入れて炊飯しないでください。炊飯不良の恐れがあります。

●機器のセット

（前ページのつづき）

2 外わく部を炊飯燃焼部に正しく乗せる

●内ぶたを外ぶたにセットし、外ぶたを閉める。

●外わく部を正しくセットしないと、炊飯できません。

⚠注意

炊飯燃焼部の炊飯受け皿・感熱部に米つぶ・食品くずなどがついていると、正常に炊飯できません。外わく部をセットするときに、必ず取り除いてください。

お願い

●外わく部をセットするときに、電源コードがはさまらないように注意してください。

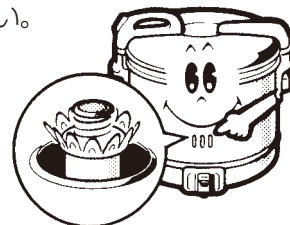
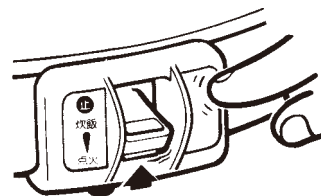
●点火・炊飯

1 ガス栓を全開にする

●炊飯レバーが「止」の位置にあることを確認してからガス栓を開けてください。

2 バーナーに点火

●炊飯レバーを下へ「カチッ」と音がするまで押し下げて、そのまま数秒間押し続けてください。

●手を離してもバーナーに点火していることを点火確認窓から確かめてください。

●炊飯レバーを押し下げた際、手を離すと途中までもどりますがセットされています。

●万一、バーナーに点火しなかったり、炊飯途中で火を消すときは、図のように炊飯レバーを「カチッ」と音がするまで強く引き上げてください。

お願い

●はじめてご使用になるときや、長い間使用にならなかったときなどはゴム管内に空気が入っていて、点火しにくいことがあります。この場合には、空気が抜けるまで、数回点火操作を繰り返してください。
●ゴム管内に空気が入っている場合、バーナーに点火しても消火することがあります。確実に点火していることを確認してください。(数秒間) 万一、吹き消えなどで5秒間以上ガスが出た場合は、炊飯レバーを「止」の位置までもどしガスの臭いが消え、さらに数秒間待ってから点火操作を行ってください。

3 電源コードを差し込む

●保温が必要な場合はバーナーに点火したことを確認して、器具用プラグを器具コンセントに差し込む。

お願い

●お米を洗って水につけているときは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。お米がふやけて、炊飯できなくなる恐れがあります。
●器具用プラグを器具コンセントに差し込む際は、器具コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

●電源プラグをコンセントに差し込む。器具コンセント前部の通電ランプ(オレンジ色)が点灯し、通電したことを示します。

●消火

■炊飯が終わると・・・

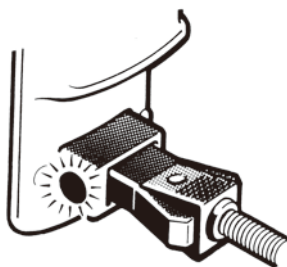
●炊飯レバーは「止」の位置にもどり、バーナーは消火します。
●消火を確認してからガス栓を確実に閉じてください。

●むらし

●消火してすぐにふたをとると、おいしいご飯になりません。消火してから必ず15分以上むらしてください。

●むらしが終ったあと、ご飯をよくほぐしてください。

●保温

●器具コンセント前部の通電ランプ（オレンジ色）が点灯していることを確認してください。

■保温は12時間まで

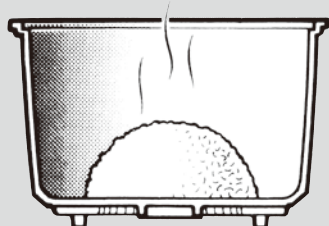
●12時間以上になると、保温臭や乾燥によるご飯の劣化が進みます。保温時間は短い方が好ましいので、早目にお召し上がりください。

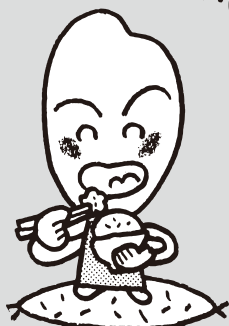
■保温中・食事中は必ず電源プラグを差し込んだままに。

●電源プラグをコンセントに接続し、保温を続けてください。

■保温終了後は…

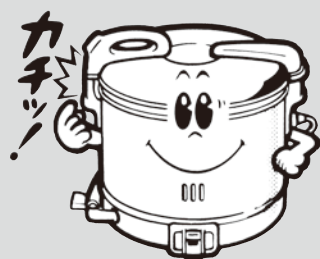
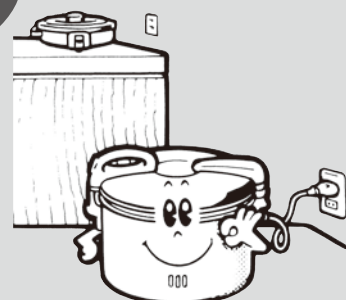
●保温終了後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

上手に保温しましょう

■ご飯を炊飯かまの中央によせる

●炊飯かまの周囲についたご飯がパサパサになるのを防ぐことができます。

■停電したときは

●短時間なら問題はありませんが、長時間になってご飯が冷えてしまった場合は、再度保温しないようにしてください。

■外わく部だけで保温する場合

●耐熱性のある平らな所において保温してください。

ご飯は炊きたてがおいしい。でもこんなことに気をつけるとおいしくご飯を保温していただけます。

■ふたのロックは確実に

●外ぶた・内ぶたがしっかり閉まっていないとご飯の水分が逃げ、乾燥して黄変やいやなニオイの原因になります。

■外わく部を移動させる場合

●保温はすべて、電気で行いますので保温中、外わく部を移動させる場合は、電源プラグを別のコンセントに接続して保温を続けてください。

こんな保温はやめましょう

黄バミ・ニオイ・パサつきの原因になります。

●12時間以上の保温
ご飯が劣化しパサつき、黄バミ、ニオイの原因になります。

●少ないご飯（お茶碗1～2杯程度）の保温
ご飯の水分が早く蒸発し劣化が早くなります。

●しゃもじを入れたままの保温
しゃもじについた雑菌が増殖する恐れがあります。

●外ぶたにふきんをかぶせての保温
機器の損傷・火災の原因となります。

●冷えたご飯の再保温（長時間停電も同じ）
加熱する途中でご飯がこげたり、いやなニオイがすることがあります。

●直接風が当たる場所での保温
風が当たるところが冷やされ、部分的に適度な保温温度以下になる恐れがあります。

●炊きこみご飯や汁物などの保温
具などに変質しやすい物があると劣化が早くなります。

ひと工夫…

●残ったご飯や少なくなったご飯は冷凍保存し、電子レンジ等で温めなおすとおいしく食べられます。

あとかたづけ

炊飯かまおよび内ぶたはアルミ製品です。
食器洗い乾燥機でお手入れすると、専用洗剤の成分により表面が酸化して変色する恐れがあります。

お願い まず確かめてください。①ガス栓が閉じている　②電源プラグを抜いている　③機器が冷えている

●そのつどのお手入れ

■炊飯かま

●使用後はごはん粒・おねば等を洗い落とし、つねに水切りよく保存してください。

●炊飯かま底面の感熱部受けの汚れをきれいにふきとってください。汚れがつくと炊飯不良の原因になります。

●お手入れの際は、やわらかいスポンジなどを使い、研摩効果の高い洗剤やかたいスポンジ、金属タワシで洗わないでください。また、スプーンや食器などは入れないでください。

■外ぶた・つゆ受け枠

●外ぶた・外ぶた内側・つゆ受け枠は、よく絞った布でふいてください。

■内ぶた・しゃもじ

●そのつどやわらかいスポンジを使って洗ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で洗って、そのあと乾いた布で水気をふいてください。

●内ぶたのフロートの下は汚れがつきやすいので、フロートを持ち上げて洗ってください。

■つゆ受け

●そのつど、つゆ受けにたまった水は、捨てて、きれいに洗ってください。

▶つゆ受けのはずし方

図のようにつゆ受けの先端（手前または奥のどちらか）に指をかけ、広げるようにして引っぱってください。

■ライスネットをお使いになる場合

●炊飯ごとに必ずお手入れを行ってください。

●炊飯後はそのつど、きれいに洗ってください。目づまりしていると、早切れ、炊きむらの原因となります。手洗いでは不十分ですので、洗濯機「すすぎモード」で水洗いされることをおすすめします。

●毎日の炊飯回数に応じた予備のライスネットを用意され、きれいに洗われたものを１回に限り使用していただく方法もおすすめします。たとえば、１日５回炊飯の場合は、５枚のライスネットを用意する。

お手入れ

お願い まず確かめてください。①ガス栓が閉じている　②電源プラグを抜いている　③機器が冷えている

⚠警告

修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客様自身では工具を使用しては、絶対に分解したり、
修理・改造は行わないでください。
火災・ガス漏れの恐れや異常動作してけがをすることがあります。

分解禁止

■炊飯燃焼部・炊飯受け皿・外わく

●よく絞った布でふいてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を浸した布で汚れを落とした後、洗剤分を十分ふきとり、最後にからぶきしてください。

■バーナー・感熱部

●バーナー炎口がつまっているときは針金などで取り除いてください。感熱部の汚れがこびりついて取れないときは極細目のサンドペーパー（目のあらさ400番程度）で表面に傷が付かない程度に軽くこすり取ってください。

●バーナーや感熱部などのお手入れの際は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。

⚠警告

機器には電気部品・安全装置が組み込んであります。水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電・不完全燃焼の恐れがあります。

感電注意

■立消え安全装置

●やわらかな布などで汚れをふきとってください。汚れていたり、位置が変わると点火しにくくなります。固いものをぶつけたりして位置を動かさないようにしてください。

お願い

プラスチック・印刷塗装面・ほうろうのお手入れには酸性・アルカリ性の洗剤・アルコール・シンナー・金属たわし・ナイロンたわし・クレンザー（みがき粉）などを使わないでください。

ミガキ粉　酸性、アルカリ性洗剤

金属たわし

ナイロンたわし

消耗部品について

消耗部品はお買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所でお買い求めください。

■炊飯かま（フッ素樹脂加工）

●使っているうちに、色むら・ハガレができることがありますが衛生上問題ありません。万一食べてしまっても食品衛生法の基準内で問題はありません。ご使用に不便をきたすようになりましたら、炊飯かまだけをお買い求めください。また、炊飯かまの側面等が凸凹になっている場合は炊飯かまの交換が必要です。

■その他部品類

●内ぶた、内ぶた取付パッキン、フロートの変形・変色・破損など、ご使用に不便をきたすようになりましたら、部品をお買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所でお買い替えください。しゃもじ・つゆ受けなども同様です。

フッ素樹脂加工をいためず、長持ちさせるポイント

●お手入れの際は、やわらかいスポンジなどを使い、研磨効果の高い洗剤やかたいスポンジ、金属たわしで洗わない。また、スプーンや食器などは入れない。
●付属のしゃもじを使う。
●炊きこみやおこわなど調味料を使った後は、すぐに洗う。
●酢などの酸の強いものは使わない。
●炊飯かまでお米を洗わない。

もしイヤな臭いがついた場合

●炊飯かまに計量カップ２～３杯の水を入れ、炊飯かまを本体にセットし、炊飯の要領で点火し、水がなくなって、自動消火するまで煮沸してください。自動消火した後、炊飯かま・内ぶたを取り出して、きれいに水洗いし、乾いた清潔なふきんで水気をふきとってください。（使用直後は高温のため、取扱いに注意してください。）

故障や異常の見分け方と処置方法

⚠ 警告

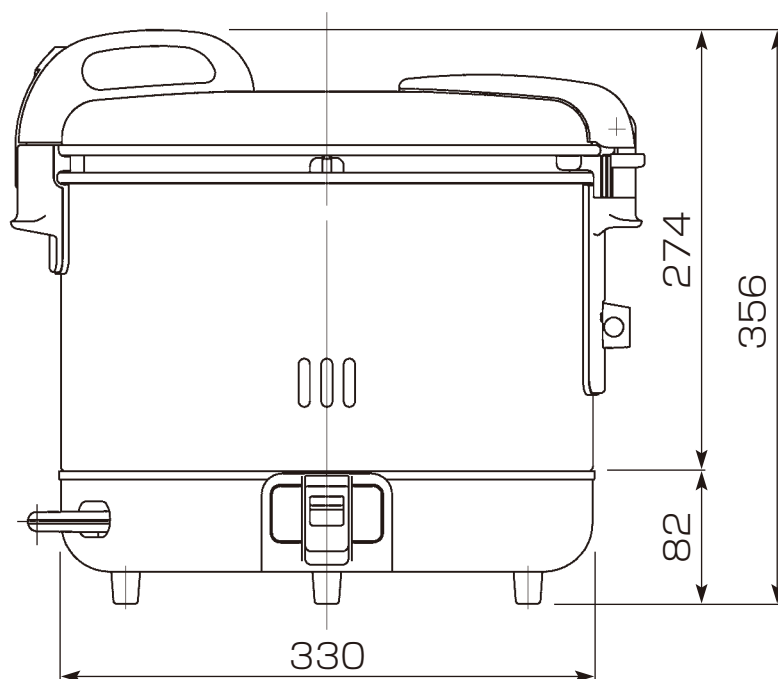
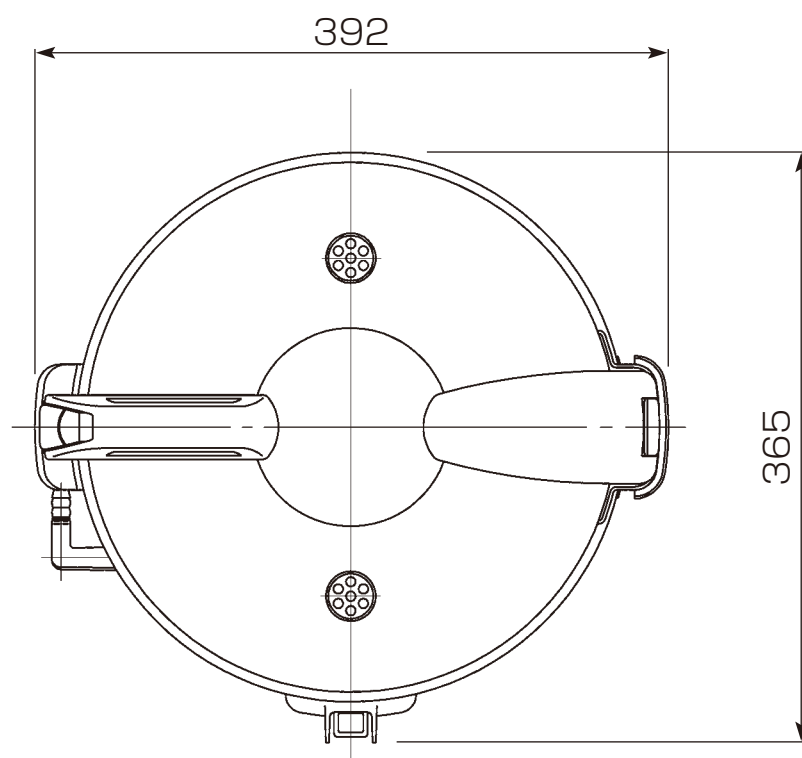
使用中に異常を感じたとき　①すぐに使用を中止する　② あわてず、ガス栓を閉じる　③電源プラグを抜く

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現　象	原因と処置	
点火しない 点火しにくい 使用中に消火した	1.ガス栓が全開になっていない 2.機器セット不良 3.ゴム管の折れ曲り・つぶれ 4.点火操作が適切でない 5.乾電池の消耗	→ 全開にする → 正しくセットする → 折れ・曲りを直す → 押し時間を長くする → 新品と交換する
炎が安定しない 黄炎で燃える 異常音をたてて燃える	1.バーナー炎口づまり	→ 炎口づまりを掃除する
ご飯がうまく炊けない ・自動消火しない ・早切れする ・ふきこぼれが多い ・ご飯がこげる ・炊きむらがある	1.機器が傾いている 2.機器セット不良 3.感熱部・感熱部受けの汚れ・異物付着 4.水加減不良 5.洗米不良 6.ご飯をほぐしていない・むらしていない 7.ライスネット使用時ライスネットの目づまり	→ 正しく設置する → 正しくセットする → 汚れ・異物を取り除く → 正しく水加減する → 正しく洗米する → 15分むらし後、よくほぐす → ライスネットをよく洗う
保温中のご飯が ・べとつく ・硬くなった ・臭いがする ・変色している ・さめている	1.ご飯をほぐしていない 2.よく洗米していない 3.感熱部・感熱部受けの汚れ、異物付着 4.炊飯かま、内ぶた、つゆ受けのお手入れ不足 5.12時間以上、または少量のご飯を保温している 6.しゃもじを入れたままか、冷やご飯・ご飯のつぎたしを保温している 7.長時間の停電があった 8.外ぶた・内ぶたがきっちりとしまっていない 9.器具用プラグの差し込み不足	→ 15分むらし後、よくほぐす → 水がきれいになるまでお米を洗う → ご飯つぶなどの汚れをとる → そのつどお手入れする （5～8）→ 14ページの「おいしく保温するために」の項を参照する。 → 器具用プラグを器具コンセントに確実に差し込む
ガスのにおいがする	ガスゴム管のひび割れ、穴あき	→ ガスゴム管を交換する
ふきこぼれや、風などで炎が消えたとき	安全のため立消え安全装置が働き、自動的にガスが止まります。消火に気付いたときは、すぐ炊飯レバーを「止」にしてください。再点火するときは、周囲にガスがなくなってから点火操作してください。	

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。

寸法図

〔単位：mm〕

仕様

品　　　　　名		RR-15VNS2
炊　飯　量（r）		0.6～3.0
外形寸法〔a〕	高　さ	356
	幅	392
	奥　行	365
質　　量（o）		8.1
ガ　ス　接　続		φ9.5a ガス用ゴム管
電　　　源		AC100V
消費電力（W）		160
点　火　方　式		放電点火式
安　全　装　置		立消え安全装置
付　　属　　品		しゃもじ･計量カップ･乾電池･取扱説明書（保証書付）･連絡先一覧表･電源コード

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■個別ガス消費量

使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量
形式の呼び	RR-15VNS2
LPガス	2.21kW
13A	2.21kW
12A	2.06kW
6A	2.21kW
5C	2.21kW
L1（6B,6C,7C）	2.27kW
L2（5A,5B,5AN）	1.86kW
L3（4A,4B,4C）	1.86kW

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

長期間使用しない場合

乾電池を抜き各部の汚れを取除き、十分に乾燥してからほこりなどの異物が入らないようにビニールに包み、お求めになったときの箱に入れ湿気やほこりの少ないところへ保管してください。
特にガス通路部分（ガス接続口）には、ほこりが入ってガス通路をつまらせないように、お買い上げになった際に取付けられていたキャップをガス接続口にはめてください。

■乾電池に関するご注意

●機器を廃棄する際は必ず乾電池を取り外してください。火災等の原因となります。

アフターサービスについて

■サービス（点検・修理など）を依頼される前に

●18ページの「故障や異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓を閉じ、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
①製品名・ガスの種類
②形式の呼び（銘板表示のもの）
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
④ご住所・お名前・電話番号
⑤訪問ご希望日
●定期点検のすすめ。（有料）
安心してお使いいただくために、定期的に点検を受けてお手入れされることをおすすめします。

■転居される場合

●ガスには都市ガス数種類およびLPガスの区分があります。

⚠ 警告

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。
転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にご相談ください。

●転居にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

●裏表紙が保証書になっています。
●当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください。）
●保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保存してください。

■補修用性能部品の保有期間について

●この機器の補修用性能部品の保有期間は、当製品の製造打切後 6 年間となっています。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■アフターサービスなどの連絡先

●お買い上げの販売店か、当社の支社・支店・営業所・出張所にご連絡ください。
●別添の「連絡先」一覧表を参照してください。

リンナイフリーダイヤル
0120-054321

保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
   ただし、消耗部品は、保証の対象ではありません。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、別添の『連絡先』一覧表をご覧の上、当社事業所にご連絡ください。
4. 本保証書は、再発行いたしませんので大切に保存してください。
5. 無料修理についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ、鳥、くも・昆虫類等の侵入、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
   （ニ）車両・船舶への搭載で使用された場合の故障および損傷。
   （ホ）本書の提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ト）指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
   （チ）ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別添の「連絡先」一覧表をご覧の上、当社事業所にお問い合せください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年　　　月　　　日		
販　売　店		扱者印	
住　　　所			
電 話 番 号			

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社
〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052(361)8211

06 00000 155919 8

TRR15VNS2-01×02
10.04